

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	栗田 利一
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3522
事務事業名	4236 まちづくり推進事業											
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課											
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費										
	事業	010000 まちづくり推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
歴史的・文化的資産である蔵の町並みをいかした、住みよい活力あるまちづくりを推進する。						<ul style="list-style-type: none"> ・製糸で栄えた須坂の歴史文化を伝え、町並みの景観上も重要な旧小田切家住宅を復元修理する。 ・歴史的建造物を活かしたまちづくりのため、「須坂市歴史的建造物」への登録及び「須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金」の交付を行う。 ・社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画（須坂中央・旭ヶ丘地区、第2期H23～27）の事後評価を行う。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
1 旧小田切家住宅復元修理工事 2 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）須坂中央・旭ヶ丘地区、豊丘地区 3 歴史的建造物審査会、建造物登録、歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金	1 旧小田切家住宅復元修理工事最終報告書作成 2 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）豊丘地区 事後評価の実施 3 歴史的建造物審査会、建造物登録、歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	須坂市歴史的建造物の累計登録数					
算式					単位	台
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	5	5	5	5	5	
実績						
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名	歴史的建物を活用した新たな施設数（累計）					
算式					単位	箇所
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	30	35	40	45	50	
実績						
指標選定の理由	歴史的建造物審査会にて、歴史的建物の維持、保存、活用のための方策等について検討し、その結果歴史的建物の活用が図られ、建物の維持にもつながるため。					
最終年度目標の根拠	歴史的建造物審査会にて、歴史的建物の維持、保存、活用のための方策を検討し、実際に活用された建物の数の累計を根拠とする。					
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値						
実績						
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		134,677	6,941
特定財源	国庫支出金	51,469	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	69,700	0
	その他	0	0
一般財源		13,508	6,941
人員数(人)	正規職員	1.3	1.2
	嘱託職員	0.2	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,370.4	8,649.6
	嘱託職員	541.0	270.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,911.4	8,920.1
市民一人当たりの経費		2.8	0.3
総額		144,588.4	15,861.1

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	250	旧小田切家住宅調査委員、調査団員謝礼 歴史的建造物審査会謝礼
11節 需用費	241	消耗品費、燃料費、食料費
13節 委託費	4,077	旧小田切家住宅復元修理工事監理業務、痕跡調査業務、歴史的建造物登録銘板作成
15節 工事請負費	124,636	旧小田切家住宅復元修理工事
19節 負担金補助及び交付金	5,411	水道事業分担金、歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金、リノベーションスクール負担金
その他	62	旅費、郵便料、車両定期点検手数料

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	616	旧小田切家住宅調査委員、調査団員謝礼 歴史的建造物審査会謝礼
11節 需用費	334	消耗品費、燃料費、修繕料
13節 委託費	54	歴史的建造物登録銘板作成
15節 工事請負費	500	旧小田切家住宅舗装復旧工事
19節 負担金補助及び交付金	5,000	歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金
その他	437	旅費、郵便料、車検手数料、保険料、自動車重量税

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	須坂市の景観上重要な建造物である旧小田切家住宅の復元修理工事が完了した。 歴史的建造物審査を開催し歴史的建造物の登録を実施し、修理が必要な歴史的建造物に対しは歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金の交付を行ない建造物の維持保存を推進した。歴史的建造物はこの20年で半減している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	旧小田切家住宅は須坂市の歴史文化を伝えるうえで須坂市の景観上重要な建造物の一つである。 歴史的建造物の登録、歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金は、建造物の維持保存活用にも有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	可能な限り事業費の縮減に勤めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須坂市の景観上重要な建造物である旧小田切家住宅の復元修理工事が完了した。
 社会資本整備総合計画・都市再生整備計画にも基づき、道路等公共施設の整備事業を実施した。
 審査会の審査を経て歴史的建造物の登録及び公共を行い、歴史的な景観や文化の維持保存に寄与した。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
<p>旧小田切家住宅の復元改修工事が完了となり、本年度改修に伴う報告書をまとめることで完了となる。 歴史的町並みの保存活用を今後とも進めていくために新たに伝統的建造物群保存に向けた取り組みが必要である。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
<p>歴史的資産を活かしたまちづくりを進めるために、所有者の了解を得ながら歴史的建造物の登録、維持保存活用に取り組んでいく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント